

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	都市計画課長 永井 淳一		
まち-09	実施事業	都市計画運営事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市計画課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進	

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	市全域の土地利用・まちなみ	・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。 ・都市計画業務支援システムの運用による都市計画情報等の迅速な提供など、市民等へのサービス向上を図った。 ・鎌倉海浜公園、生産緑地地区（追加4箇所、廃止2箇所）、第4号山ノ内宮下小路緑地の都市計画変更告示を実施した。 ・高度地区指定拡大方針に沿って、高度地区を指定拡大（約340ha→第1種約344ha、第2種約309ha、第3種約181ha、第4種約71ha）し都市計画変更告示を実施した。 ・特定生産緑地制度の説明会を実施して所有者に周知を図るとともに、令和2年4月から特定生産緑地指定手続開始に向けて書式の作成など事前準備を実施した。 ・立地適正化計画策定に向けて庁内検討委員会を設置して、都市構造の分析等を行い、連絡調整を図った。
意図	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。	
効果	まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」（鎌倉市都市マスタープランより）を目指す。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	6,280	44,716	当初予算(千円)	18,370		
	国県支出金		1,523	国県支出金	3,250		
	地方債			地方債			
	その他	238	184	その他	300		
	一般財源	6,042	43,009	一般財源	14,820		
事業費運営	人員配置数	6.0	6.0	人員配置数	6.0		
	人件費(千円)	48,057	48,898	人件費(千円)	51,780		
	総事業費(千円)	54,337	93,614	総事業費(千円)	70,150		
	市民1人当りの経費(円)	308	531	市民1人当りの経費(円)	397		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	令和2年度は通常業務である都市計画変更等の手続や都市マスタープランの運用業務などに加えて、令和元年度に引き続き立地適正化計画策定業務、都市計画情報提供サービス業務（公開型GIS）及び特定生産緑地指定図作成業務を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評（評価に対する考え方、根拠等）	・都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続、都市計画法に基づいた法定手続であり、事業費の削減の余地はなく、関連及び類似事業との統合はできない。 ・都市計画手続は市民生活に直結し、影響が大きいため、公聴会の開催や意見書の提出機会を設けるなど、市民意見を計画に反映する必要があることから、今後も都市計画法に基づき市が適切に実施する必要がある。 ・都市計画図等の活用・販売、都市計画支援システムの活用により、広く都市計画情報を公開し、また、問い合わせ等に迅速に対応している。
-------------------	--

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 高度地区指定拡大について、周知活動を実施し都市計画変更に向けた手続を進める必要がある。 特定生産緑地の指定に向けた、指定基準、指定フロー、帳票等の作成が必要である。 令和元年度から3か年で行う立地適正化計画の策定には、防災、福祉、交通等の庁内関係部署との連携が不可欠であるため、情報の共有化を図る必要がある。また、鎌倉市特有の地形による津波やがけ崩れのハザードエリアの計画における位置づけ等、課題解決に向けた検討が必要である。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 高度地区指定拡大方針に沿って、高度地区を指定拡大(約340ha→第1種約344ha、第2種約309ha、第3種約181ha、第4種約71ha)し都市計画変更告示を実施した。 特定生産緑地制度の説明会を実施して所有者に周知を図るとともに、令和2年4月から特定生産緑地指定手続開始に向けて書式の作成など事前準備を実施した。 立地適正化計画策定に向けて庁内検討委員会を設置して、都市構造の分析等を行い、連絡調整を図った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から3か年で行う立地適正化計画の策定は、令和元年度は庁内検討委員会を設置し、都市構造の分析等を行い、連絡調整を図ったが、制度及び内容についてさらに理解を深めていくことが必要不可欠であるため、引き続き防災、福祉、交通等の庁内関係部署と連携し、情報の共有化を図る必要がある。また、鎌倉市特有の地形による津波やがけ崩れのハザードエリアの計画における位置づけ等、課題解決に向けた検討が必要である。 引き続き特定生産緑地制度の周知を図り、順次指定を進める必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名										
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	都市計画の決定・変更の実現(①公園・緑地の変更(廃止)、②高度地区の拡大、③大平山丸山地区地区計画の都市計画決定、④生産緑地地区面積引下げ条例の制定)					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
短期的に都市計画決定・変更を想定している案件を計画的に実施するため	目標値	-	-	-	-	50.0	100.0	都市計画決定・変更 H30:1件 R01:4件		
	実績値	-	-	-	-	50.0	100.0			
	達成率	-	-	-	-	100.0%	100.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--